

かまくら 女性史の会 Newsletter

第 122 号

2024 年 12 月 21 日 発行

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

NPOセンター鎌倉 気付

メールボックス 26

E-mail: syokmat@yahoo.co.jp

《ことは 中学校教科書採択の年》

「神武、綏靖、安寧、懿徳、孝昭、孝安、孝霊、…」冒頭頁に天皇皇位継承図、始まりは神話から 500 頁以上の縦書き歴史教科書。「令和書籍」の中学校「国史」が、戦後初めて文部科学省検定に、今年合格した。鎌倉市教育委員会教科書展示会で、その見本本の場所が「戦時中の大日本帝国にタイムスリップしていた」とは大袈裟だが、1 週間、参加者の注目を集めていた。

皇位 124 代や教育勅語などを暗記する教育を受けた 1934～35 年生まれ迄の生存者たちが教育委員会への意見を書く気持ちは如何ばかりだっただろうか。展示会参加者は 100 名を超えた。

2024 年・今年は 4 年に一度の中学校教科書採択の年だった。

「令和書籍」は、国公立中学校で全く採択はなく、私立 1 校が採択した。他の採択事情も落ち着いていく。神奈川県内 33 市町村の 2 市で採択されていた中学校社会科教科書も、9 年間～11 年間を経て、熱心な教師・保護者・市民の参加が進み、2020 年以降は「採択替え」となっている。

全国 1,724 自治体すべての 9,982 小中学校は、教育委員会が教科書を採択する。778 私立小中学校、国立小中学校は校長中心に各学校が 4 年間使用する教科書を採択し、都道府県立高等学校は、毎年校長中心に各学校が使用する教科書を採択している。

そこで国際的にも珍しい日本の公立小中学校の採択に、今年も注目が集まった。

戦後、日本国憲法、教育基本法に基づいて戦後の民主主義を基本とした教科書に、鎌倉も神奈川も全国も 21 世紀に入ると大嵐が吹いた。子ども、父母、市民らの関心と世論の高まりのなか、教える教師・学校でなく教育委員会が採択する制度に関心が集まった。すべての学校で教師、子ども、父母、地域住民の意見に基づいて教科書が採択される時代になるよう願って、毎年地道な努力が続いている。すべての学校で教師たちが見本本を読んで意見が出せることを基本に。

ことしの文科省検定合格本に、今までも「戦争賛美や改憲へ続く」危ない教科書に教科書展示会で心配の声が上がっていた。教育は独立性、政治的中立性、継続性が特に求められる。

いま、地球上に、自然破壊、戦争による平和に生存することができない危機が広がっている。

せめて、3 年後の小学校、4 年後の中学校教科書採択が「平和に生きる人々の人生が守られる」ために、時間が作れたら下記を検索して、お読みください。

— 浪本勝年「日本における教科書採択制度の歴史的変遷」— (『立正大学心理学研究年報 3』 2012 年)

2024 年 12 月 1 日

かまくら女性史の会会員

郡司春乃

《例会記録》

2024 年 11 月 16 日（土）午前 10 時～

NPO センター鎌倉 2 階会議室 出席者 7 名

2024 年 11 月 16 日（土）10：00～12：30

- 1）Newsletter121 号について（編集：石崎）
- 2）Newsletter122 号について（編集：多和田）



★シリーズ：私たちの「戦争体験」No. 46

「広島の被爆体験を鎌倉で語り継いで」⑤

話者 景山邦子 聞き書き 平田恵美

○戦後の生活

父の医院は、壊滅状態ですから、生活の手立てがありません。近所の人に、鶏を飼って売れば生活できるよと言われて、母は残った娘姉妹と一緒に頑張って、鶏を育てました。餌をやれば育つし卵を産むので、生計が立ったのです。卵は、戦後は貴重品でした。川口町の家が 200 坪あったのでバタリー式の鶏舎にして、お米屋さんが持ってきて来てくれた糠と野菜を混ぜてバケツに入れて練った餌をやり、鶏糞はお百姓さんが喜んで取ってくれました。育雛はストーブを焚いて温めて育てました。お見舞いと言えば卵、当時は卵は珍しかったです。生み落とされた卵を取って歩くのが私の役目でした。

そうして母は私たちを育ててくれました。ただ、その後鶏肉は食べられません。母は現場にいましたが、運がよくて長生きしました。ただ、70 歳くらいで徐々に体調を崩して、ひどいリュウマチになったり、目が見えなくなって、10 年間寝たままです、92 才で他界しました。

★講演会「紫式部と清少納言—大河ドラマ

「光る君へ」を鏡として—」感想

（東京学芸大学名誉教授 河添房江氏

主催：鎌倉婦人子供会館、2024 年 10 月 12 日）

大河ドラマ「光る君へ」から平安時代の王朝文化の理解を深める講演だった。先生によると「光る君へ」の部屋のセットなど、NHK だけあって小

3）F☆L113 の原稿確認

4）F☆L113 当日までの準備、打ち合わせ

5）婦選会館訪問について（12 月 12 日）

6）今後の研究活動について

保育に関わり、尽力した女性たちを取り上げ、最後は女性史としてまとめたい。

道具などの時代考証がしっかりされていると。

たとえば、部屋は公私の使い分けがあり、文化は中国から入ってくるので、公的な男性の部屋は唐風で、唐絵屏風に漢詩、青磁の陶器などの室礼（しつらい）で、私的な部屋や女性の部屋はやまと絵の屏風にかなで和歌が書かれているというような使い分けがされている。

書き物は巻物の方が大切なものであるという。唐から入った唐紙は特に貴重なものであった。紙自体がなかなか手に入らないものだったのだろう。

枕草子は六つ切りの冊子であるが、源氏物語は四つ切りで、豪華な唐紙を使って描かれている。このように藤原氏の時代は唐風文化を和様化した国風文化の時代で、唐物と呼ばれる舶来品を消費する洗練された都市文化の時代だった。（高階）

★ファンタスティック☆ライブラリー113

講演会「長崎で被爆し、そして今」

（慶応義塾大学名誉教授 三浦富美子氏

於：中央図書館 3 階多目的室、12 月 1 日）

約 30 名が参加、長崎での被爆とその後の貴重な体験談をお聞きしました。



2025 年 1 月の例会 & 作業

18 日（土）13 時～ 中央図書館多目的室

（第 122 号編集担当 多和田）